



平成 27 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 江守グループホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 江守 清隆  
(コード：9963、東証第一部)  
問合せ先 常務取締役グループ管理部門担当 揚原 安麿  
(TEL 0776-36-9963)

(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 7 月 28 日に開示いたしました「平成 27 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 27 年 3 月 16 日付『平成 27 年 3 月期第 3 四半期報告書の提出』および『過年度有価証券報告書等ならびに内部統制報告書の訂正報告書の提出に関するお知らせ』にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

以 上

【訂正後】



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	66,670	46.8	1,701	43.7	1,277	8.8	844	3.1
26年3月期第1四半期	45,428	45.8	1,184	71.8	1,174	78.9	819	108.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 87百万円 (△96.2%) 26年3月期第1四半期 2,293百万円 (84.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	68.50	-
26年3月期第1四半期	78.09	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	108,327	22,188	20.5
26年3月期	102,152	22,571	22.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 22,153百万円 26年3月期 22,533百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	20.00	-	38.00	58.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	25.00	-	37.00	62.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	24.5	2,900	9.1	2,500	△3.3	1,500	△10.9	121.64
通期	260,000	24.4	6,500	16.5	5,900	9.1	3,800	14.3	308.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社  
除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	12,340,000株	26年3月期	12,340,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	8,316株	26年3月期	8,290株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	12,331,696株	26年3月期1Q	10,491,816株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られましたが、雇用情勢や所得環境が改善する中で個人消費は底堅く推移しました。また、企業収益の改善を受けて、設備投資についても引き続き増加する傾向にありました。一方、当社の主力市場である中国においては、景気拡大のテンポは緩やかになりつつあるものの、堅調な内需を背景として、安定した経済成長が続きました。ASEANについては、一部の国で政情不安定が続いたことなどから、景気は足踏み状態にありました。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「商社」セグメントでは、中国市場における資源、食糧、化学品の売上が引き続き連結業績を牽引した結果、増収増益となりました。「情報」セグメントでは、国内のソフトウェア投資が緩やかに増加する状況にあることに加え、消費税増税に伴う対応案件を多く検収に繋げ、増収増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は666億70百万円（前年同四半期比46.8%増）、営業利益は17億1百万円（同43.7%増）、経常利益は12億77百万円（同8.8%増）、四半期純利益は8億44百万円（同3.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの変更を行っており、前年同期比の数値の算定にあたっては、前第1四半期連結累計期間のセグメント数値を組替えたうえで比較を行っております。

#### ①商社

当第1四半期連結累計期間の商社セグメント全体の売上高は647億47百万円（同47.7%増）、セグメント利益（営業利益）は17億16百万円（同33.2%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントを基にした法人所在地別の業績概要は、以下のとおりであります。

##### <日本>

当第1四半期連結累計期間の売上高は129億41百万円（同0.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3億15百万円（同14.0%減）となりました。

消費税増税の駆け込み需要の反動が懸念されましたが、影響は限定的で、売上高についてはほぼ横ばいとなりました。一方、当第1四半期連結累計期間から新基幹システムを導入したことにより、償却費や保守料がかさんだことから、セグメント利益は減益となりました。

##### <中国>

当第1四半期連結累計期間の売上高は524億18百万円（同58.9%増）、セグメント利益（営業利益）は13億46百万円（同41.6%増）となりました。

前連結会計年度に引き続き、マンガンやブリキなどの金属資源関連の取引が堅調に推移したほか、トウモロコシやアルコールなどの食糧の売上についても好調を維持し続けております。また、ベンゼンやアセトンなどの化学品の売上も伸長し、セグメントの業績に貢献しました。

##### <ASEAN他>

当第1四半期連結累計期間の売上高は107億50百万円（同208.0%増）、セグメント利益（営業利益）は58百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

シンガポール子会社を通じての中継貿易が本格化したことに伴い、中国子会社とシンガポール子会社間の取引量が大幅に増加した結果、増収増益となりました。

#### ②情報

当第1四半期連結累計期間の売上高は12億85百万円（同20.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2億77百万円（同53.6%増）となりました。

情報セグメントの子会社の決算月が12月であることから、第1四半期末が3月末となったことにより、既存顧客に対する消費税増税対応案件の検収が多く、増収増益となりました。

#### ③その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は8億7百万円（同21.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同四半期はセグメント損失11百万円）となりました。

移動体通信機器の販売が堅調だったほか、建築請負工事の受注も増加基調にあることからセグメント全体では増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61億75百万円増加し、1,083億27百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより59億68百万円増加しました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより2億6百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ65億57百万円増加し、861億38百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより66億6百万円増加しました。固定負債は、繰延税金負債の減少などにより48百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、221億88百万円となりました。利益剰余金が3億76百万円、その他有価証券評価差額金が1億51百万円それぞれ増加しましたが、為替換算調整勘定が9億7百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少し、20.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、為替予約の会計処理について、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用していましたが、当第1四半期連結累計期間より原則的処理に変更いたしました。この変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,115,216	9,028,386
受取手形及び売掛金	<u>65,735,949</u>	<u>78,725,915</u>
たな卸資産	5,964,025	6,147,928
繰延税金資産	275,489	360,220
その他	<u>5,291,541</u>	<u>4,029,659</u>
貸倒引当金	△174,425	△115,731
流動資産合計	<u>92,207,796</u>	<u>98,176,378</u>
固定資産		
有形固定資産	3,764,474	3,776,280
無形固定資産		
のれん	54,414	46,465
その他	785,781	734,572
無形固定資産合計	<u>840,195</u>	<u>781,038</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	5,013,840	5,252,633
繰延税金資産	44,480	58,357
その他	307,344	308,622
貸倒引当金	△25,880	△25,880
投資その他の資産合計	<u>5,339,785</u>	<u>5,593,732</u>
固定資産合計	<u>9,944,455</u>	<u>10,151,051</u>
資産合計	<u>102,152,251</u>	<u>108,327,430</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,275,742	27,673,589
短期借入金	30,843,914	29,553,670
1年内返済予定の長期借入金	5,926,689	7,692,852
未払法人税等	1,031,396	1,058,362
賞与引当金	328,079	520,542
その他	2,091,481	2,604,340
流動負債合計	62,497,302	69,103,358
固定負債		
長期借入金	14,970,805	14,974,964
繰延税金負債	1,738,794	1,686,321
再評価に係る繰延税金負債	208,396	208,396
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
退職給付に係る負債	35,788	37,211
その他	12,765	11,519
固定負債合計	17,083,672	17,035,535
負債合計	79,580,975	86,138,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,794,281	1,794,281
資本剰余金	2,018,581	2,018,581
利益剰余金	12,582,725	12,958,881
自己株式	△2,040	△2,081
株主資本合計	16,393,548	16,769,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,027,013	2,178,403
繰延ヘッジ損益	△376	△0
土地再評価差額金	266,080	266,080
為替換算調整勘定	3,846,913	2,939,385
その他の包括利益累計額合計	6,139,631	5,383,868
少数株主持分	38,097	35,005
純資産合計	22,571,276	22,188,536
負債純資産合計	102,152,251	108,327,430



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	45,428,488	66,670,414
売上原価	42,672,278	62,892,692
売上総利益	2,756,209	3,777,721
販売費及び一般管理費	1,572,042	2,076,285
営業利益	1,184,166	1,701,436
営業外収益		
受取利息	34,862	45,756
受取配当金	47,226	28,923
持分法による投資利益	3,009	3,661
為替差益	86,069	—
その他	21,195	31,761
営業外収益合計	192,363	110,102
営業外費用		
支払利息	165,413	264,226
為替差損	—	200,488
その他	36,639	69,107
営業外費用合計	202,053	533,822
経常利益	1,174,477	1,277,716
特別利益		
関係会社株式売却益	33,251	—
特別利益合計	33,251	—
特別損失		
固定資産処分損	216	38,059
投資有価証券評価損	841	—
その他	—	252
特別損失合計	1,057	38,312
税金等調整前四半期純利益	1,206,671	1,239,404
法人税、住民税及び事業税	490,417	630,326
法人税等調整額	△101,033	△234,541
法人税等合計	389,384	395,785
少数株主損益調整前四半期純利益	817,287	843,618
少数株主損失(△)	△2,038	△1,141
四半期純利益	819,326	844,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	817,287	843,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248,910	151,389
繰延ヘッジ損益	△556	375
為替換算調整勘定	1,214,993	△906,426
持分法適用会社に対する持分相当額	13,138	△1,102
その他の包括利益合計	1,476,487	△755,762
四半期包括利益	2,293,774	87,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,240,194	88,997
少数株主に係る四半期包括利益	53,580	△1,141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					情報	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	商社										
	日本	中国	ASEAN他	消去	商社計						
売上高											
外部顧客への 売上高	10,395,777	31,383,984	2,039,847	-	43,819,609	999,828	44,819,437	609,050	45,428,488	-	45,428,488
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,526,316	1,609,723	1,450,579	△5,580,625	5,994	69,605	75,599	56,009	131,609	△131,609	-
計	12,922,093	32,993,707	3,490,427	△5,580,625	43,825,603	1,069,434	44,895,037	665,060	45,560,098	△131,609	45,428,488
セグメント利益 又は損失(△)	367,180	951,419	△22,151	△7,513	1,288,933	180,839	1,469,773	△11,285	1,458,487	△274,320	1,184,166

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料販売、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△274,320千円には、セグメント間取引消去3,109千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,430千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					情報	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	商社										
	日本	中国	ASEAN他	消去	商社計						
売上高											
外部顧客への 売上高	10,305,855	51,663,515	2,769,438	-	64,738,809	1,197,814	65,936,624	733,790	66,670,414	-	66,670,414
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,635,740	755,126	7,981,298	△11,363,021	9,144	87,305	96,449	73,503	169,952	△169,952	-
計	12,941,596	52,418,642	10,750,737	△11,363,021	64,747,954	1,285,119	66,033,073	807,293	66,840,367	△169,952	66,670,414
セグメント利益	315,891	1,346,865	58,009	△3,842	1,716,924	277,801	1,994,725	2,386	1,997,112	△295,676	1,701,436

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料販売、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△295,676千円には、セグメント間取引消去等10,893千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△306,569千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「ケミカル」「情報機器」「機械設備」から、「商社」「情報」の区分に変更し、さらに「商社」を法人所在地別に「日本」「中国」「ASEAN他」に細分化することといたしました。

「ケミカル」から「商社」への呼称の変更については、金属資源や食糧等の化学品以外の売上高が近年増加していることを受けたものです。また、「商社」セグメントを法人所在地別に分けたことについては、当社グループが、4月1日に持株会社へ移行完了したことに伴い、日本、中国、ASEANの三極を軸とする経営体制が整ったことによるものです。

なお、「機械設備」セグメントについては、連結業績に占める割合が相対的に低下していることから、報告セグメントから除外いたしました。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

【訂正前】



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	68,380	44.0	1,741	43.2	1,277	8.8	844	3.1
26年3月期第1四半期	47,483	50.0	1,215	74.5	1,174	78.9	819	108.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 87百万円 (△96.2%) 26年3月期第1四半期 2,293百万円 (84.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	68.50	—
26年3月期第1四半期	78.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	108,327	22,188	20.5
26年3月期	102,152	22,571	22.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 22,153百万円 26年3月期 22,533百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	38.00	58.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	25.00	—	37.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	18.6	2,900	6.1	2,500	△3.3	1,500	△10.9	121.64
通期	260,000	18.6	6,500	13.2	5,900	9.1	3,800	14.3	308.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社  
除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	12,340,000株	26年3月期	12,340,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	8,316株	26年3月期	8,290株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	12,331,696株	26年3月期1Q	10,491,816株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られましたが、雇用情勢や所得環境が改善する中で個人消費は底堅く推移しました。また、企業収益の改善を受けて、設備投資についても引き続き増加する傾向にありました。一方、当社の主力市場である中国においては、景気拡大のテンポは緩やかになりつつあるものの、堅調な内需を背景として、安定した経済成長が続きました。ASEANについては、一部の国で政情不安定が続いたことなどから、景気は足踏み状態にありました。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「商社」セグメントでは、中国市場における資源、食糧、化学品の売上が引き続き連結業績を牽引した結果、増収増益となりました。「情報」セグメントでは、国内のソフトウェア投資が緩やかに増加する状況にあることに加え、消費税増税に伴う対応案件を多く検収に繋げ、増収増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は683億80百万円（前年同四半期比44.0%増）、営業利益は17億41百万円（同43.2%増）、経常利益は12億77百万円（同8.8%増）、四半期純利益は8億44百万円（同3.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの変更を行っており、前年同期比の数値の算定にあたっては、前第1四半期連結累計期間のセグメント数値を組替えたうえで比較を行っております。

#### ①商社

当第1四半期連結累計期間の商社セグメント全体の売上高は664億58百万円（同44.9%増）、セグメント利益（営業利益）は17億56百万円（同33.0%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントを基にした法人所在地別の業績概要は、以下のとおりであります。

##### <日本>

当第1四半期連結累計期間の売上高は129億41百万円（同0.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3億15百万円（同14.0%減）となりました。

消費税増税の駆け込み需要の反動が懸念されましたが、影響は限定的で、売上高についてはほぼ横ばいとなりました。一方、当第1四半期連結累計期間から新基幹システムを導入したことにより、償却費や保守料がかさんだことから、セグメント利益は減益となりました。

##### <中国>

当第1四半期連結累計期間の売上高は541億28百万円（同54.4%増）、セグメント利益（営業利益）は13億86百万円（同41.1%増）となりました。

前連結会計年度に引き続き、マンガンやブリキなどの金属資源関連の取引が堅調に推移したほか、トウモロコシやアルコールなどの食糧の売上についても好調を維持し続けております。また、ベンゼンやアセトンなどの化学品の売上も伸長し、セグメントの業績に貢献しました。

##### <ASEAN他>

当第1四半期連結累計期間の売上高は107億50百万円（同208.0%増）、セグメント利益（営業利益）は58百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

シンガポール子会社を通じての中継貿易が本格化したことに伴い、中国子会社とシンガポール子会社間の取引量が大幅に増加した結果、増収増益となりました。

#### ②情報

当第1四半期連結累計期間の売上高は12億85百万円（同20.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2億77百万円（同53.6%増）となりました。

情報セグメントの子会社の決算月が12月であることから、第1四半期末が3月末となったことにより、既存顧客に対する消費税増税対応案件の検収が多く、増収増益となりました。

#### ③その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は8億7百万円（同21.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同四半期はセグメント損失11百万円）となりました。

移動体通信機器の販売が堅調だったほか、建築請負工事の受注も増加基調にあることからセグメント全体では増収増益となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61億75百万円増加し、1,083億27百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより59億68百万円増加しました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより2億6百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ65億57百万円増加し、861億38百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより66億6百万円増加しました。固定負債は、繰延税金負債の減少などにより48百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、221億88百万円となりました。利益剰余金が3億76百万円、その他有価証券評価差額金が1億51百万円それぞれ増加しましたが、為替換算調整勘定が9億7百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少し、20.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、為替予約の会計処理について、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用していましたが、当第1四半期連結累計期間より原則的処理に変更いたしました。この変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,115,216	9,028,386
受取手形及び売掛金	<u>68,370,204</u>	<u>80,012,216</u>
たな卸資産	5,964,025	6,147,928
繰延税金資産	275,489	360,220
その他	<u>2,657,286</u>	<u>2,743,358</u>
貸倒引当金	△174,425	△115,731
流動資産合計	<u>92,207,796</u>	<u>98,176,378</u>
固定資産		
有形固定資産	3,764,474	3,776,280
無形固定資産		
のれん	54,414	46,465
その他	785,781	734,572
無形固定資産合計	<u>840,195</u>	<u>781,038</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	5,013,840	5,252,633
繰延税金資産	44,480	58,357
その他	307,344	308,622
貸倒引当金	△25,880	△25,880
投資その他の資産合計	<u>5,339,785</u>	<u>5,593,732</u>
固定資産合計	<u>9,944,455</u>	<u>10,151,051</u>
資産合計	<u>102,152,251</u>	<u>108,327,430</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,275,742	27,673,589
短期借入金	30,843,914	29,553,670
1年内返済予定の長期借入金	5,926,689	7,692,852
未払法人税等	1,031,396	1,058,362
賞与引当金	328,079	520,542
その他	2,091,481	2,604,340
流動負債合計	62,497,302	69,103,358
固定負債		
長期借入金	14,970,805	14,974,964
繰延税金負債	1,738,794	1,686,321
再評価に係る繰延税金負債	208,396	208,396
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
退職給付に係る負債	35,788	37,211
その他	12,765	11,519
固定負債合計	17,083,672	17,035,535
負債合計	79,580,975	86,138,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,794,281	1,794,281
資本剰余金	2,018,581	2,018,581
利益剰余金	12,582,725	12,958,881
自己株式	△2,040	△2,081
株主資本合計	16,393,548	16,769,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,027,013	2,178,403
繰延ヘッジ損益	△376	△0
土地再評価差額金	266,080	266,080
為替換算調整勘定	3,846,913	2,939,385
その他の包括利益累計額合計	6,139,631	5,383,868
少数株主持分	38,097	35,005
純資産合計	22,571,276	22,188,536
負債純資産合計	102,152,251	108,327,430

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	47,483,038	68,380,667
売上原価	44,695,363	64,563,131
売上総利益	2,787,675	3,817,535
販売費及び一般管理費	1,572,042	2,076,285
営業利益	1,215,632	1,741,250
営業外収益		
受取利息	3,397	5,942
受取配当金	47,226	28,923
持分法による投資利益	3,009	3,661
為替差益	86,069	—
その他	21,195	31,761
営業外収益合計	160,898	70,289
営業外費用		
支払利息	165,413	264,226
為替差損	—	200,488
その他	36,639	69,107
営業外費用合計	202,053	533,822
経常利益	1,174,477	1,277,716
特別利益		
関係会社株式売却益	33,251	—
特別利益合計	33,251	—
特別損失		
固定資産処分損	216	38,059
投資有価証券評価損	841	—
その他	—	252
特別損失合計	1,057	38,312
税金等調整前四半期純利益	1,206,671	1,239,404
法人税、住民税及び事業税	490,417	630,326
法人税等調整額	△101,033	△234,541
法人税等合計	389,384	395,785
少数株主損益調整前四半期純利益	817,287	843,618
少数株主損失(△)	△2,038	△1,141
四半期純利益	819,326	844,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	817,287	843,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248,910	151,389
繰延ヘッジ損益	△556	375
為替換算調整勘定	1,214,993	△906,426
持分法適用会社に対する持分相当額	13,138	△1,102
その他の包括利益合計	1,476,487	△755,762
四半期包括利益	2,293,774	87,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,240,194	88,997
少数株主に係る四半期包括利益	53,580	△1,141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					情報	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	商社										
	日本	中国	ASEAN他	消去	商社計						
売上高											
外部顧客への 売上高	10,395,777	33,438,534	2,039,847	-	45,874,159	999,828	46,873,988	609,050	47,483,038	-	47,483,038
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,526,316	1,609,723	1,450,579	△5,580,625	5,994	69,605	75,599	56,009	131,609	△131,609	-
計	12,922,093	35,048,258	3,490,427	△5,580,625	45,880,153	1,069,434	46,949,588	665,060	47,614,648	△131,609	47,483,038
セグメント利益 又は損失(△)	367,180	982,884	△22,151	△7,513	1,320,399	180,839	1,501,238	△11,285	1,489,952	△274,320	1,215,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料販売、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△274,320千円には、セグメント間取引消去3,109千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,430千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					情報	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	商社										
	日本	中国	ASEAN他	消去	商社計						
売上高											
外部顧客への 売上高	10,305,855	53,373,768	2,769,438	-	66,449,063	1,197,814	67,646,877	733,790	68,380,667	-	68,380,667
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,635,740	755,126	7,981,298	△11,363,021	9,144	87,305	96,449	73,503	169,952	△169,952	-
計	12,941,596	54,128,895	10,750,737	△11,363,021	66,458,207	1,285,119	67,743,326	807,293	68,550,620	△169,952	68,380,667
セグメント利益	315,891	1,386,679	58,009	△3,842	1,756,738	277,801	2,034,539	2,386	2,036,926	△295,676	1,741,250

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料販売、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△295,676千円には、セグメント間取引消去等10,893千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△306,569千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「ケミカル」「情報機器」「機械設備」から、「商社」「情報」の区分に変更し、さらに「商社」を法人所在地別に「日本」「中国」「ASEAN他」に細分化することといたしました。

「ケミカル」から「商社」への呼称の変更については、金属資源や食糧等の化学品以外の売上高が近年増加していることを受けたものです。また、「商社」セグメントを法人所在地別に分けたことについては、当社グループが、4月1日に持株会社へ移行完了したことに伴い、日本、中国、ASEANの三極を軸とする経営体制が整ったことによるものです。

なお、「機械設備」セグメントについては、連結業績に占める割合が相対的に低下していることから、報告セグメントから除外いたしました。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。